


 第三部

基調講演

山本 理顕氏
 (建築家)

パネラー (五十音順)

五十嵐敬喜氏
 (法政大学教授・元内閣官房参与)

小磯盟四郎氏
 (川崎まち連)

林 厚見氏
 (東京 R 不動産)

日置雅晴氏
 (早稲田大学法科大学院教授)

松本恭治氏
 (住宅問題研究者)

三橋重昭氏
 (中小企業診断士)

空き家・空き地をどうするか

全国の空き家推定八〇〇万戸
 新築住宅年間八〇万戸建設
 人口減少・マンション紛争・超高層乱立
 住宅街の空き家・シャッター通り
 地域のつながりと安心をどう取り戻すのか。

6月1日(土)

PM3:00~

法政大学市ヶ谷キャンパス

58年館 843教室

会費：一般 1,500円

会員 1,000円

学生 500円

(全プログラム共通です)

主催：法政大学五十嵐ゼミ・景観と住環境を考える全国ネットワーク

<http://machi-kaeru.com/> info@machi-kaeru.com fax(03) 5228 0392

第一部

6月1日(土) 午前 10:00~12:00

全国マンション紛争の現状報告



日影、圧迫感、町並み破壊、住環境破壊、景観破壊など、地域のあり方を否定するマンション計画について全国の一般市民が報告し、現状のまちづくり制度の問題点を明らかにします。
※報告に参加される方は下記からお申込ください。会員以外も報告頂けます。

なぜ空き家 800 万戸時代に 超高層乱立なのか

会場 法政大学市ヶ谷キャンパス 会費：一般 1,500 円・会員 1,000 円・学生 500 円
(全プログラム共通です)

第二部

6月1日(土) 午後 1:00~2:40 58年館4階 843教室

なぜ日本ではマンション紛争が 起きるのか

講演 日置雅晴氏
(景住ネット代表・早稲田大学法科大学院教授)



会場とのディスカッション
高橋倫恵氏 (西宮市議)
司会・奈須りえ氏 (大田区議)

6月1日(土)
午後 3:00~6:30

空き家・空き地を どうするか

第三部

現地見学

6月2日(日) 午前 9:30 飯田橋西口集合

詳しくは裏面



AM

超高層乱立の小杉

工場や社宅の跡地が次々と超高層マンションに変わっている。地元で本格的な反対運動が起き、都市計画の変更には4万通の意見書が出されたが市はこの声を黙殺した。



PM

文京区のマンション紛争

坂道と文化遺産でつくられた景観が魅力の文京区。住環境を重視する区民と開発圧力の狭間で建築紛争が多発している。堀坂、善光寺坂、網干坂の紛争地を巡る。



参加申し込み・最新情報は
ホームページで

★資料の準備の都合上、事前申込をお願いします。

主催：法政大学五十嵐ゼミ・景観と住環境を考える全国ネットワーク

http://machi-kaeru.com/ info@machi-kaeru.com fax(03) 5228 0392